

1. 県内感染症情報

1) 全数報告感染症（1～5類感染症）

[]は無症状病原体保有者を再掲

結核が7件[2件](松江圏域5件[2件]、浜田圏域1件、益田圏域1件)、日本紅斑熱が3件(出雲圏域2件、浜田圏域1件)、レジオネラ症が1件(松江圏域)、レプトスピラ症が1件(出雲圏域)、梅毒が2件(浜田圏域1件、益田圏域1件)、侵襲性肺炎球菌感染症が1件(出雲圏域)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症が3件(松江圏域)報告されています。

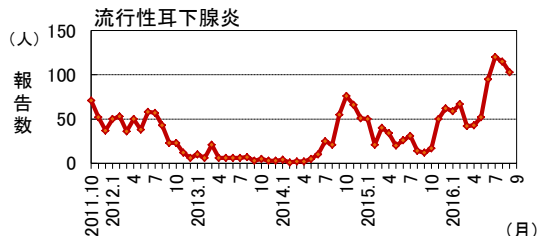
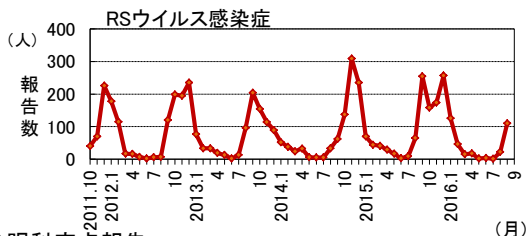
*週報告医療機関からの報告患者数(4週換算)：7月 1,208件 8月 1,064件 9月 1,185件

島根県保健環境科学研究所
島根県感染症情報センター
Tel :0852-36-8181

2) インフルエンザ及び小児科定点報告 ()は月の定点当たり報告数(4週換算) []は週の定点当たり報告数

- インフルエンザ : (0.1)。松江圏域で散発的な患者発生報告があります。A型が医療機関で検出(迅速診断)されており、今後の動向に注意が必要です。
- 感染性胃腸炎 : (21.6)。県内全域の患者報告数はほぼ横ばいです。大田圏域(36)、出雲圏域(30)及び松江圏域(28)ほか、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。手洗いの励行と食品の取扱いに注意しましょう。
- A群溶連菌咽頭炎 : (6.2)。県内全域の患者報告数は8月に比べやや増加しています。松江圏域(14)、出雲圏域(6)及び雲南圏域(5)ほか、大田圏域及び益田圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。合併症を来さないよう早期診断と確実な治療が重要です。
- RSウイルス感染症 : (4.8)。県内全域の患者報告数は増加しています。松江圏域(8)、出雲圏域(6)及び浜田圏域(3)ほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。乳幼児が罹患すると、細気管支炎や肺炎など重症化することもあり、保育園等を中心に注意が必要です。
- 流行性耳下腺炎 : (4.4)。県内全域の患者報告数は7月をピークに減少していますが、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、雲南圏域(11)では第39週[8.0]に警報レベル[6.0]を超える流行となっているほか、松江圏域(5)、出雲圏域(5)及び益田圏域(3)等、隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり、引き続き注意が必要です。
- 手足口病 : (3.7)。県内全域の患者報告数は9月に入り増加しています。浜田圏域(7)、松江圏域(6)及び益田圏域(3)ほか、雲南圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があり、今後の動向に注意が必要です。
- 伝染性紅斑 : (2.3)。県内全域の患者報告数は6月をピークに減少していますが、過去5年間の同期に比べ多い状況が続いています。特に、松江圏域(5)では第36週[2.0]に、益田圏域(3)では第39週[2.0]に警報レベル[2.0]の流行となっているほか、雲南圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。妊娠中(特に、妊娠初期)の感染により胎児に危険が及ぶこともあるため引き続き注意が必要です。
- 咽頭結膜熱 : (2.1)。県内全域の患者報告数は5月をピークに減少していますが、出雲圏域(4)及び松江圏域(3)ほか、大田圏域及び隠岐圏域を除く各圏域で患者発生報告があります。

過去5年間の発生推移(2011年10月～2016年9月：月4週で換算)



3) 眼科定点報告

流行性角結膜炎が16件(出雲圏域11件、浜田圏域4件、松江圏域1件)の患者発生報告があります。手洗い等感染予防を心掛けましょう。

4) 性感染症報告

性器クラミジア感染症が9件、性器ヘルペスウイルス感染症が4件、尖圭コンジローマが1件、淋菌感染症が5件の患者発生報告があります。

5) 基幹病院報告 ()は4週換算報告数

- 細菌性髄膜炎 : 1件(1)。益田圏域(1)で患者発生報告があります。
- 無菌性髄膜炎 : 3件(2)。松江圏域(2)及び出雲圏域(1)で患者発生報告があります。
- マイコプラズマ肺炎 : 17件(14)。雲南圏域(8)及び大田圏域(4)では患者報告数の多い状態が続いています。
- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 : 32件。2015年の月平均患者発生報告数25.7件に比べやや多い患者発生報告があり、70歳以上が22件[69%]を占めています。

2. 病原体検出情報（2016年8月～2016年9月までの検出結果）

インフルエンザは、8月に中部でA香港型が検出されています。咽頭結膜熱は、9月になりアデノウイルス3型が主に検出されています。流行性角結膜炎からもアデノウイルス3型が主に検出されています。感染性胃腸炎は、ノロウイルスG II及びサボウイルスが検出されています。肺・気管支炎は、8月からRSウイルスが検出され始め、9月には増加しています。2015年には手足口病から年間を通して検出されていたコクサッキーウイルスA6型が9月に検出されています。

2016年8月から2016年9月までの診断名別病原体検出数：島根県保健環境科学研究所（一部抜粋）

病原体名・型	アデノ		キコクAサツ		キコクBサツ		エインザフル	ザフパルエイン	RS	ライノ	ニヒユトメタ	ノロ	サボ	合計
	1	2	3	6	4	6								
診断名							AH3	1	3				G2	
インフルエンザ								3						3
咽頭結膜熱	1	4	15	1								1		23
感染性胃腸炎			1	1								5	3	10
手足口病						1								1
ヘルパンギーナ					2									2
咽頭炎						1			1	2	1			5
扁桃炎	1													1
肺・気管支炎		2				1			3	5	3			14
熱性疾患						1	2	2				1		7
発疹症								1						1
無菌性髄膜炎						2								2

島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：月集計）

島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2016年 9月

平成28年8月29日～平成28年10月2日

区分	県			圏 域 別																	報告数推移 [※]							
	合計	男	女	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	6M	12M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10-	20-	6月	7月	8月	9月	
インフルエンザ [※] 定点数	38			11	3	9	3	5	5	2																		
インフルエンザ	2	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	3	2	2	
小児科定点数	23			7	2	5	2	3	3	1																		
RSウイルス感染症	137	72	65	72	6	39	-	13	7	-	18	37	56	22	3	1	-	-	-	-	-	-	-	3	1	22	110	
咽頭結膜熱	60	34	26	22	4	26	-	2	6	-	2	8	24	11	6	4	-	1	-	1	1	1	1	164	90	89	48	
A群溶連菌咽頭炎	179	96	83	122	13	38	-	2	-	4	-	1	7	12	20	25	31	12	13	13	8	31	6	219	180	125	143	
感染性胃腸炎	621	332	289	243	28	189	90	3	68	-	8	75	169	86	59	54	36	24	19	13	21	34	23	487	473	493	497	
水痘	19	9	10	8	-	9	-	1	1	-	-	4	7	-	2	1	2	-	-	1	1	-	1	16	18	17	15	
手足口病	108	65	43	53	-	14	1	27	13	-	1	22	55	22	5	1	1	-	-	-	-	1	-	30	18	17	86	
伝染性紅斑	68	32	36	42	-	10	1	4	11	-	-	-	5	8	18	10	10	7	6	-	2	1	1	101	91	47	54	
突発性発疹	84	44	40	22	5	30	6	8	12	1	5	29	45	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	59	69	62	67	
百日咳	8	5	3	-	-	7	-	-	-	1	3	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	3	6	
ヘルパンギーナ	30	17	13	7	1	13	1	5	1	2	-	5	11	6	3	2	1	-	1	1	-	-	-	199	111	33	24	
流行性耳下腺炎	128	52	76	47	27	34	3	6	11	-	-	3	10	15	25	23	23	11	1	6	2	5	4	96	120	115	102	
眼科定点数	3			1		1		1																				
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	16	8	8	1	-	11	-	4	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14	10	6	7	13	
基幹定点数	8			1	1	2	1	1	1	1	0歳	1-	5-	10-	15-	20-	25-	30-	35-	40-	45-	50-	60-					
細菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
無菌性髄膜炎	3	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	7	9	2	
マイコプラズマ肺炎	17	10	7	-	10	1	5	1	-	-	5	2	5	1	1	-	1	-	-	-	-	2	2	7	20	22	14	
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	

※月の週数により補正しています。

島根県感染症発生動向調査情報 (STD定点・基幹病院定点報告:月報)

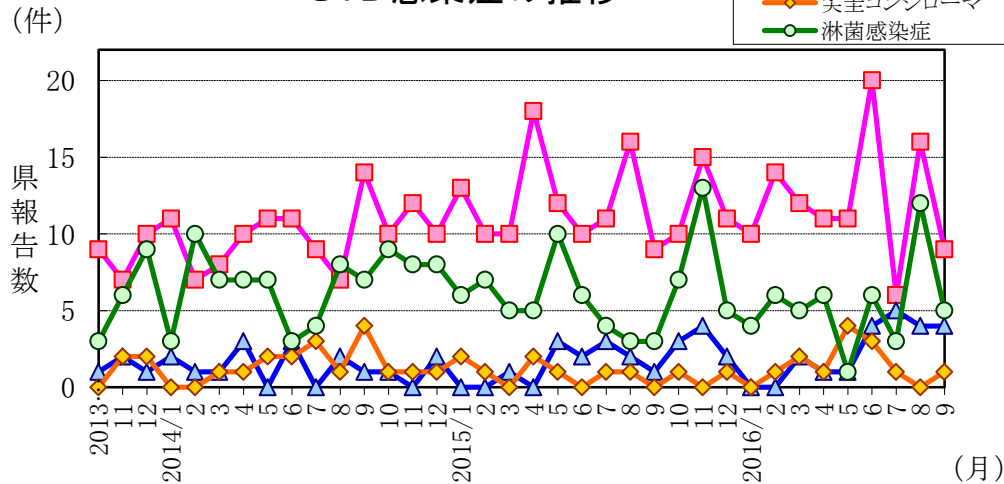
島根県感染症情報センター
(島根県保健環境科学研究所)

2016年 9月

平成28年9月

区分	県		地区別				年齢区分							過去報告数(月)														
	合計	男	女	東部	中部	西部	隠岐	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9月
STD定点	6			2	2	2	0									6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
性器クラミジア感染症	9	2	7	5	3	1	-	-	1	6	2	-	-	-	-	9	10	15	11	10	14	12	11	11	20	6	16	9
性器ヘルペスウイルス感染症	4	3	1	2	-	2	-	-	-	2	1	-	-	1	-	1	3	4	2	-	-	2	1	1	4	5	4	4
尖圭コンジローマ	1	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	2	1	4	3	1	-	1
淋菌感染症	5	4	1	1	1	3	-	-	2	2	-	1	-	-	-	3	7	13	5	4	6	5	6	1	6	3	12	5
基幹病院定点	8			1	3	3	1									8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	32	21	11	3	4	25	-	3	-	-	-	1	3	3	22	26	27	31	26	32	34	34	24	24	23	24	23	32
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	2	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

STD感染症の推移



薬剤耐性菌感染症の推移

